

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 星和電機株式会社
 コード番号 6748 URL <http://www.seiwa.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 増山 晃章
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 愛知後 秀作
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

TEL 0774-55-8181

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	12,753	5.1	223	—	155	—	201	—
21年3月期第3四半期	12,137	—	△733	—	△782	—	△1,172	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	16.64	—
21年3月期第3四半期	△96.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	19,381	8,046	41.0	655.40
21年3月期	19,708	7,905	39.5	643.23

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 7,937百万円 21年3月期 7,791百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	0.0	900	219.9	850	275.5	750	—	61.92

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 12,382,000株 21年3月期 12,382,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 271,461株 21年3月期 269,660株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 12,111,499株 21年3月期第3四半期 12,115,300株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（9か月）におけるわが国経済は、一部に景気底打ちの兆しが見られたものの、企業業績の停滞による設備投資の減少に加え、雇用情勢、個人消費も低迷を続けるなど依然として厳しい状況が続きました。

このような環境下において当社グループでは、従来にも増してコスト低減活動、製品品質向上活動に注力するとともに新製品・新技術開発に努め、事業推進力の一層の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期の連結売上高は127億53百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。営業利益は2億23百万円（前年同四半期は7億33百万円の損失）、経常利益は1億55百万円（前年同四半期は7億82百万円の損失）、四半期純利益は2億1百万円（前年同四半期は11億72百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの売上高は通常の形態として、他の四半期に比べ第4四半期に完成する工事の割合が大きいため、業績に季節的変動があります。

事業部門別の営業の概況は次のとおりであります。

（電気機器関連事業）

情報機器部門につきましては、この部門の主力製品であります道路情報機器の売上が前年同四半期に比べ増加しました。この結果、売上高は57億98百万円（前年同四半期比67.0%増）となりました。受注高は、高速道路会社向けの大型案件を中心に受注が進んだことから高水準で推移しました。

照明機器部門につきましては、民間設備投資関連の産業用照明器具は減少しましたが、公共投資関連の道路・トンネル照明器具は増加しました。この結果、売上高は26億53百万円（同15.8%減）となりました。

樹脂製品部門につきましては、配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材、個人消費のエアコン用配管保護機材ともに減少しました。この結果、売上高は18億60百万円（同21.9%減）となりました。

新規事業部門につきましては、デジタル家電や車載関連の不振の影響を受け、電磁ノイズ対策製品、オプトデバイス製品ともに減少しました。この結果、売上高は21億55百万円（同24.9%減）となりました。

以上、電気機器関連事業の売上高は124億68百万円（同5.0%増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業につきましては、商品仕入販売は1億5百万円、情報サービスなどは1億78百万円となりました。この結果、その他の事業の売上高は2億84百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。

なお、前年同期増減率については、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債、純資産の状況

当第3四半期末の資産の状況につきましては、受取手形及び売掛金の減少により、資産の残高は前連結会計年度末に比べ3億27百万円減少し、193億81百万円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金の減少の結果、前連結会計年度末に比べ4億67百万円減少し、113億35百万円となりました。

純資産の残高は、利益剰余金の増加や評価・換算差額等の増加の結果、前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加の80億46百万円となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下資金という。）は前連結会計年度末に比べ1億35百万円増加し、16億48百万円となりました。

当四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は10億98百万円（前年同四半期は3億36百万円の獲得）となりました。これは、売上債権の減少29億6百万円等があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は8億22百万円（前年同四半期は6億25百万円の使用）となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が6億26百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は1億37百万円（前年同四半期は9億90百万円の使用）となりました。これは、長期借入れによる収入が15億円ありましたが、短期借入金の減少11億75百万円、長期借入金の返済による支出3億52百万円等があったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績が概ね計画通りに推移しておりますので、現時点においては平成21年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工期1年以上の工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,129,630千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ637,179千円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,836,368	1,700,655
受取手形及び売掛金	5,406,560	8,312,832
有価証券	7,475	50,006
商品及び製品	1,915,197	1,592,609
仕掛品	1,490,722	461,340
原材料及び貯蔵品	2,452,258	2,149,512
その他	641,280	290,976
貸倒引当金	△5,991	△428
流動資産合計	13,743,871	14,557,505
固定資産		
有形固定資産	2,492,812	2,479,726
無形固定資産	137,206	82,532
投資その他の資産		
投資有価証券	1,764,642	1,320,771
その他	1,339,785	1,347,603
貸倒引当金	△96,698	△79,283
投資その他の資産合計	3,007,729	2,589,091
固定資産合計	5,637,748	5,151,350
資産合計	19,381,620	19,708,855
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,848,186	4,328,652
短期借入金	2,200,000	3,375,000
1年内返済予定の長期借入金	595,750	446,350
未払法人税等	33,835	43,895
引当金	6,429	34,048
その他	1,666,133	1,659,078
流動負債合計	8,350,335	9,887,024
固定負債		
長期借入金	1,569,950	572,050
長期未払金	262,174	262,174
退職給付引当金	285,389	274,840
役員退職慰労引当金	71,990	71,990
偶発損失引当金	502,540	488,470
その他	292,722	246,526
固定負債合計	2,984,767	1,916,051
負債合計	11,335,102	11,803,075

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,380,000	3,380,000
資本剰余金	3,613,665	3,613,665
利益剰余金	803,421	710,869
自己株式	△194,309	△193,628
株主資本合計	7,602,777	7,510,906
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	353,801	296,457
為替換算調整勘定	△19,310	△16,288
評価・換算差額等合計	334,490	280,168
少数株主持分	109,250	114,703
純資産合計	8,046,517	7,905,779
負債純資産合計	19,381,620	19,708,855

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,137,364	12,753,289
売上原価	10,317,700	9,944,874
売上総利益	1,819,663	2,808,415
販売費及び一般管理費	2,552,710	2,584,460
営業利益又は営業損失(△)	△733,046	223,954
営業外収益		
受取利息	3,425	4,706
受取配当金	27,174	23,089
不動産賃貸料	27,670	26,544
その他	23,441	14,949
営業外収益合計	81,711	69,290
営業外費用		
支払利息	44,404	35,222
売上割引	66,788	45,656
その他	20,255	56,935
営業外費用合計	131,447	137,814
経常利益又は経常損失(△)	△782,782	155,430
特別利益		
前期損益修正益	—	32,585
投資有価証券売却益	—	18,363
貸倒引当金戻入額	269	336
退職給付制度改定益	86,337	—
特別利益合計	86,607	51,285
特別損失		
固定資産除却損	11,604	48,118
減損損失	182,000	—
投資有価証券売却損	716	—
投資有価証券評価損	84,528	—
損害賠償金	40,549	—
偶発損失引当金繰入額	22,580	14,070
ゴルフ会員権評価損	—	2,915
特別損失合計	341,979	65,103
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,038,154	141,612
法人税、住民税及び事業税	18,845	20,047
法人税等調整額	125,847	△74,920
法人税等合計	144,692	△54,872
少数株主損失(△)	△10,169	△5,078
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,172,678	201,563

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,038,154	141,612
減価償却費	479,763	318,653
投資有価証券評価損益(△は益)	84,528	—
減損損失	182,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△621,036	—
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	△175,892	14,070
受取利息及び受取配当金	△30,600	△27,795
支払利息	44,404	35,222
固定資産除却損	11,436	25,550
売上債権の増減額(△は増加)	4,476,767	2,906,011
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,409,795	△1,655,264
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,239,253	△480,589
その他	601,788	△157,121
小計	365,956	1,120,349
利息及び配当金の受取額	31,547	29,910
利息の支払額	△33,638	△26,826
法人税等の支払額	△27,417	△24,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	336,447	1,098,780
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△543,509	△492,327
無形固定資産の取得による支出	△51,649	△72,283
投資有価証券の取得による支出	△49,988	△626,230
投資有価証券の売却による収入	32,344	346,292
その他	△13,044	21,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△625,848	△822,921
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	118,876	△1,175,000
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△961,100	△352,700
自己株式の取得による支出	△1,410	△681
配当金の支払額	△145,405	△109,011
少数株主への配当金の支払額	△1,185	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△990,224	△137,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,004	△2,743
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,283,630	135,722
現金及び現金同等物の期首残高	2,401,559	1,513,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,117,928	1,648,844

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

1. 当四半期(22年3月期)の業績(連結)

(単位:百万円)

	前四半期(21年3月期)		当四半期(22年3月期)		対前四半期増減		前期(21年3月期)		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	増減率(%)	金額	百分比(%)	
業績	売上高	12,137	100.0	12,753	100.0	615	5.1	20,993	100.0
	営業利益	△ 733	△6.0	223	1.8	957	—	281	1.3
	経常利益	△ 782	△6.4	155	1.2	938	—	226	1.1
	当期純利益	△ 1,172	△9.7	201	1.6	1,374	—	△ 1,177	△5.6
配当金(単位:円)	—	—	—	—	—	—	9	—	

2. 部門別売上高・受注状況(連結)

(単位:百万円)

	前四半期(21年3月期)		当四半期(22年3月期)		対前四半期増減		前期(21年3月期)		
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)	金額	構成比(%)	
売上高	情報機器	3,472	28.6	5,798	45.5	2,326	67.0	9,841	46.9
	照明機器	3,153	26.0	2,653	20.8	△ 499	△15.8	4,242	20.2
	樹脂製品	2,381	19.6	1,860	14.6	△ 520	△21.9	2,899	13.8
	新規事業	2,870	23.7	2,155	16.9	△ 715	△24.9	3,518	16.8
	その他	259	2.1	284	2.2	24	9.5	491	2.3
	合計	12,137	100.0	12,753	100.0	615	5.1	20,993	100.0
受注高	情報機器	7,540	55.4	8,247	62.5	707	9.4	10,909	58.9
	照明機器	3,236	23.8	2,719	20.6	△ 517	△16.0	4,205	22.7
	新規事業	2,830	20.8	2,221	16.9	△ 608	△21.5	3,401	18.4
	合計	13,607	100.0	13,188	100.0	△ 418	△3.1	18,516	100.0
受注残高	情報機器	7,535	91.4	6,984	91.6	△ 551	△7.3	4,535	90.0
	照明機器	510	6.2	454	6.0	△ 55	△10.9	389	7.7
	新規事業	193	2.4	184	2.4	△ 9	△4.9	117	2.3
	合計	8,239	100.0	7,622	100.0	△ 616	△7.5	5,042	100.0

3. その他

(単位:百万円)

	前四半期(21年3月期)		当四半期(22年3月期)		対前四半期増減		前期(21年3月期)	
	金額		金額		金額		金額	
その他	設備投資	555	339	△ 216	818			
	減価償却費	479	318	△ 161	667			
	研究開発費	315	433	118	395			

4. 通期(22年3月期)の業績予想(連結)

(単位:百万円)

	通期予想				
	予想		対前期増減		
	金額	百分比(%)	金額	増減率(%)	
業績	売上高	21,000	100.0	6	0.0
	営業利益	900	4.3	618	219.9
	経常利益	850	4.0	623	275.5
	当期純利益	750	3.6	1,927	—
配当金(単位:円)	12	—	—	—	—

部門別売上高予想

(単位:百万円)

	通期予想		対前期増減		
	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)	
売上高	情報機器	11,800	56.2	1,958	19.9
	照明機器	3,500	16.7	△ 742	△17.5
	樹脂製品	2,200	10.5	△ 699	△24.1
	新規事業	3,100	14.7	△ 418	△11.9
	その他	400	1.9	△ 91	△18.6
合計	21,000	100.0	6	0.0	

その他予想

(単位:百万円)

	通期予想		対前期増減	
	金額		金額	
設備投資	800	△ 18		
減価償却費	400	△ 267		
研究開発費	600	205		